

文部科学省 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業（近畿ブロック）  
2024年度 第1回公開研修会

# ワークショップ： JF「みなと」の教師向けコースを使った教師 教育者研修のありかたを考える

講師 熊野七絵

（国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員主任／研修部会員）

サポート 三宅直子

（同副主任、「みなと」教師向けコース制作・運用担当）

[https://drive.google.com/drive/folders/1biEUjnY4X2R6wV5rqUR\\_gG\\_1z9yCSa3E?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/1biEUjnY4X2R6wV5rqUR_gG_1z9yCSa3E?usp=sharing)



# 研修会の全体構成

「JFみなと」の教師向けコースを活用した  
2段階のワークショップ

- eラーニング活用

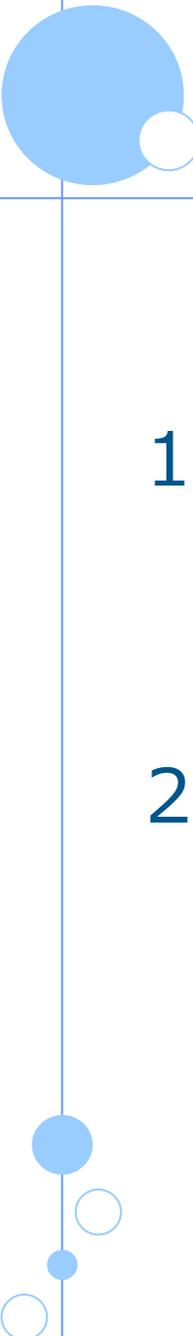
事前課題をもとに、eラーニング活用のポイントを確認し、グループでeラーニング活用アイデアを考える

- 教師向けコースの教師教育者研修への活用

反転的な教師研修体験（①）をもとに、「JFみなと」の教師向けコースの教師教育者研修への活用の可能性について考える



# JF「みなと」教師向けコースの 教師教育者研修への活用



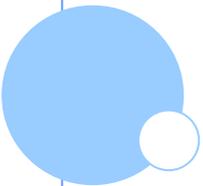
# ワークショップ 2 の目標



1. JF「みなと」の他の「教師向けオンラインコース」とその特徴、教師研修活用事例とポイントを知る。
2. 「教師向けオンラインコース」を活用し、反転的な教師教育者研修について考えることができる。

# ワークショップ 2 の流れ

- ワークショップ 2 の目標
- ワークショップ 1 のふりかえり 5分
  - 「eラーニング活用コース」の受講を前提とした反転的教師研修
- JF「みなと」の教師向けコース
  - eラーニング・ICT活用、教授法オンラインコース（一覧、コース概要）
  - 教授法オンラインコースの流れ 例：「作文を教える」 共通点
  - 反転的教師研修事例 例：「作文を教える」 同期授業のポイント
- グループワーク 25分
  - グループワークの進め方
  - グループワーク
- 全体でアイデア共有 10分
- ワークショップ 2 の目標達成確認
- 本日の研修会のふりかえり



# ワークショップ 1 のふりかえり



「eラーニング活用コース」の受講、eラーニング体験、活用アイデアなどの事前課題を前提とした反転的な教師研修はどうでしたか？



## eラーニング・ICT活用



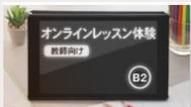
### eラーニング活用ガイド

- ・eラーニングをどう授業と組み合わせて活用するかを考える
- ・eラーニングを授業に活用する際の著作権への配慮を学ぶ



### いろいろ日本語オンラインコース活用

- ・「いろいろ日本語オンラインコース」の特徴やコンテンツを学ぶ
- ・教育現場に応じた活用方法を考える



### 日本語オンラインレッスン体験

- ・オンラインレッスンの実施方法、実践的なノウハウを学ぶ
- ・ウェブ会議ツールの機能と利用にあたってのポイントを学ぶ



### 動画教材制作入門

- 動画教材制作の具体的な方法や実践的なノウハウを学ぶ  
(PPT動画制作、撮影の準備、編集方法など)

## 日本語教師のための教授法オンラインコース



### JF日本語教育スタンダード

「JF日本語教育スタンダード」の基本的な考え方と特徴を学ぶ



### 文字の教え方

かなを中心に文字の教え方を学ぶ



### 文法の教え方

コミュニケーションにつながる文法指導の方法を学ぶ



### 会話の教え方

会話の基礎知識と会話力をのばす教え方を学ぶ



### 読解の教え方

読解の基礎知識と読解力をのばすための教え方を学ぶ



### 作文の教え方

論理的な文章が書けるようになるための作文指導の方法を学ぶ



### 日本語教育と文化

授業に文化を取り入れるために必要な基礎知識とその方法について学ぶ



### 学習を評価する

学習を評価するために必要な基礎知識を学ぶ

# 教授法オンラインコースの流れ



## オンラインコースの流れ

- STEP1 イン트로ダクション
- STEP2 Unit1 準備 Part1 生活の中の書くこと
- STEP3 Unit1 準備 Part2 「書く活動」に必要なこと
- STEP4 Unit2 実践 Part1 課題（タスク）を作る
- STEP5 Unit2 実践 Part2 文章を書くプロセスと授業
- STEP6 Unit2 実践 Part3 文章完成までのプロセスと評価
- STEP7 学習のふりかえり

生活の中の「●●こと」ふりかえり  
「●●活動」に必要なこと  
課題を作る  
授業の進め方  
評価のしかた

「教え方」コースの共通点

行動中心アプローチ

社会的存在として日本語を使って課題遂行する

「日本語教育の参照枠」の  
言語教育観と同じ

# 反転的教師研修事例： オンライン日本語教師入門コース



日本語教育の経験や知識のない方が、日本語教育に対する関心を高め、  
基本的知識を学ぶことで自信をつけることを目的とするコース

- 参加者 日本語教師経験 3 年未満、または未経験者  
日本語レベル N2またはB2程度以上  
30名 × 2 クラス
- 教材 国際交流基金 日本語教授法シリーズ  
日本語教師のための教授法オンラインコース  みなと
- 期間 3か月間 全 8 回（隔週で開講）
- 授業 90分 オンライン形式

## コーススケジュール

- 1 JF日本語教育スタンダード
- 2 文字を教える
- 3 会話を教える
- 4 読解を教える
- 5 作文を教える
- 6 日本語教育と文化
- 7 文法を教える
- 8 学習を評価する

## 学習の流れ



オンラインコース受講

修了証を提出

グループワーク中心の  
オンライン授業に参加

何から始めればいいのかわからなかった私にとって、教師への入口となるコースだった。

実際にコミュニケーションができるようになることに焦点を当てた日本語の教え方を学ぶことができたことは、日本語教師初心者の私にとって大きな収穫だった。

様々なバックグラウンドの受講者と話すことができて楽しかったし、刺激にもなった。

# オンライン授業（同期セッション）の流れ例

## 5 作文を教える

### オンライン授業の流れ

- ①今日の目標確認、コースで学んだことの振り返り
- ②グループワーク1  
みんなのCan-doサイトで【産出】書きことばのCan-doを1つ選んで、**書きたくなる課題文（タスク）**を作成
- ③グループワーク2  
グループワーク1で作成したタスクの**ループリック**を考える
- ④振り返り 目標達成について自己評価



### 同期セッションのポイント

学んだことはポイントふりかえりだけ  
**グループワーク**（課題、ループリックを作る）

グループワーク1

1. みんなのCan-doサイト(Can-doを練習する)から【産出】書きことばの中から1つ選んで、書きたくなる課題文（タスク）を作成してください。

Can-doのレベル	Can-do

課題文

グループワーク2

	5/50以上	20以上	平均以上
目標 Can-do			
構成			
目的や主旨			
課題の解決策			
文字・語句			
書き出しの工夫			
自分の学習目標			

# グループワークの進め方

## ① 教師教育者研修の対象者と課題を考える

対象例：大学の養成課程の担当教員、日本語教師養成講座の講師、  
地域の学習支援者研修の講師

課題例：教師教育者が養成課程や講座で学んだ内容からアップデートが必要  
文科省の必須内容50の新たな項目（例：ICTと著作権）  
新たな枠組みや考え方（例：参照枠、行動中心アプローチ）

## ② 「みなと」教師向けコースの中で課題に関連するコースを選ぶ

※一覧やコース概要を確認。必要ならコース教材を試してみる

## ③ 「コース」を活用し、どのような反転的な教師教育者研修を行えるか、アイデア交換する

※進行、書記、報告

## ④ 全体でアイデアを共有する。

[https://drive.google.com/drive/folders/1biEUjnY4X2R6wV5rqUR\\_gG\\_1z9yCSa3E?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/1biEUjnY4X2R6wV5rqUR_gG_1z9yCSa3E?usp=sharing)



# 教師向けコースの活用

グループ：

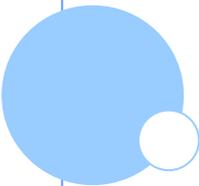
メンバー：

● 対象者

● 課題

● 活用するコース

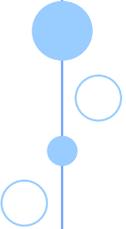
● 活用アイデアメモ



# 全体でアイデア共有



各グループで出た教師教育者研修での活用アイデア  
を簡単に報告してください。  
(1-2分)



# ワークショップの目標達成確認

1. JF「みなと」の他の「教師向けオンラインコース」とその特徴、教師研修活用事例とポイントを知る。
2. 「教師向けオンラインコース」を活用し、反転的な教師教育者研修について考えることができる。

# 研修会のふりかえり

「JFみなと」の教師向けコースを活用し、2段階のワークショップを行います。

- eラーニング活用

事前課題をもとに、eラーニング活用のポイントを確認し、グループでeラーニング活用アイデアを考える

- 教師向けコースの教師教育者研修への活用

反転的な教師研修体験（①）をもとに、「JFみなと」の教師向けコースの教師教育者研修への活用の可能性について考える